

小項目ごとの検証・確認における論点整理

自己評価の区分		判断の目安
IV	中期目標を上回っている	目標の達成状況が100%超
III	概ね中期目標どおり達成している	目標の達成状況が90%超100%以下
II	中期目標を下回っている	目標の達成状況が60%超90%以下
I	中期目標を大幅に下回っている	目標の達成状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																
		業務実績等	自己評価	論点	検証(案)															
3-1-1	<p>法人が有する医師、看護師、コメディカルや、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。</p> <p>特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保等に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。</p> <p>また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの導入促進に努めること。</p> <p>さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるよう、医療安全対策を徹底すること。</p>	<p>* 県内医療水準の向上に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度、平均在院日数の短縮や医療連携の強化などにより7対1看護体制を導入し、より質の高い医療の提供が可能となった。 医療機器整備委員会において各診療科の要望を取りまとめて、費用対効果、需要と医療技術の進歩などを総合的に判断して購入予定機器を選定し、新規購入や更新を計画的に進めた。 特に、平成24年度に地域がん診療連携拠点病院としての責任を果たし、地域から期待されるがん治療の推進にこたえることを目的として、高精度放射線治療システム(ノバリSTx)を導入した。 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ① 医師、看護師、医療技術職員及び医師事務作業補助者等の増員 ② 夜勤専従看護師の配置、及び短時間就労の実施 ③ 保育業務の委託による夜間保育、休日保育及び病児保育の利便性の向上 高度な医療を提供できる医師・看護師・コメディカルの養成のため各種学会、研修会等に参加する職員に関して、旅費等の経費負担について支援し、専門性の向上を推進した。 医師確保対策として、名古屋大学をはじめとする関連大学及び岐阜大学の病院実習生を積極的に受け入れた。 医師の職場環境や勤務体制などの意見や要望を聞く場として、院長が医師面談を実施した。 看護学生に対する奨学金制度として、看護職員修学資金貸付制度を創設した。 <p>○ 平成22年度以降に更新・整備した代表的な高度先端医療機器の一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>導入年度</th> <th>機器名</th> <th>26年度稼働件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>電子内視鏡ファイリングシステム</td> <td>2,180件</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>調剤支援システム</td> <td>100,375件</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>生体情報管理システム</td> <td>2,700件</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>超音波診断装置</td> <td>3,600件</td> </tr> </tbody> </table>	導入年度	機器名	26年度稼働件数	H22	電子内視鏡ファイリングシステム	2,180件	H22	調剤支援システム	100,375件	H23	生体情報管理システム	2,700件	H23	超音波診断装置	3,600件	IV		<p>コメディカルの研修派遣数が大幅に増加しているなど、積極的に人材育成に取り組んでいることは評価できる。</p>
導入年度	機器名	26年度稼働件数																		
H22	電子内視鏡ファイリングシステム	2,180件																		
H22	調剤支援システム	100,375件																		
H23	生体情報管理システム	2,700件																		
H23	超音波診断装置	3,600件																		

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証			
		業務実績等				自己評価	論点	検証(案)	
		H24	高精度放射線治療システム(ノバリスTx)	3,957件					
		H24	電子内視鏡システム	1,520件					
		H24	X線デジタル画像撮影装置	95,124件					
		H25	磁気共鳴画像診断装置	4,800件					
		H25	乳腺X線撮影装置	5,611件					
		H26	X線デジタル画像撮影装置	7,927件					
		H26	自動採血管準備装置	1,640件					
		○ 医師、看護師、コメディカルの職員数							
			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(21→26)
		医師	111名	129名	132名	132名	140名	141名	+30名
		看護師	431名	484名	526名	563名	569名	582名	+151名
		コメディカル	100名	118名	124名	140名	142名	158名	+58名
		(注) 各年度の職員数は4月1日現在、非常勤職員を含む。							
		○ 医師の研修派遣数							
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(22→26)	
		派遣	328名	304名	302名	387名	458名	+130名	
		受入	26名	20名	16名	65名	46名	+20名	
		○ 認定看護師・専門看護師数							
			21年度末	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	増減(21→26)
		認定看護師数	8名	11名	12名	12名	14名	18名	+10名
		専門看護師数	1名	1名	2名	2名	3名	3名	+2名
		○ コメディカルの研修派遣数							
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(22→26)	
			111名	125名	167名	163名	191名	+80名	
		* 科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの導入促進に関する事項							
		☆ 業務実績等							
		<ul style="list-style-type: none"> 各診療科において診療ガイドラインの充実を進めたことに伴い、ガイドラインに基づいた診療を浸透させた。 診療の実情や使用頻度により整理し、クリニカルパスを検証・整理した。 クリニカルインディケータについて、各診療科の実績データを公表し、経年的に評価を行うようにした。また、一般社団法人日本病院会の「QIプロジェクト」に参加し、他院との比較ができることを可能とした。 							
		○ クリニカルパス種類数・使用数							
			21	22	23	24	25	26	増減

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価						評価委員会の検証																																	
		業務実績等						自己評価	論 点	検 証 (案)																															
			年度	年度	年度	年度	年度	年度	(21-26)																																
		種別数	122	143	145	154	144	141	+19																																
		使用数	3,760 件	5,597 件	5,702 件	5,941 件	6,457 件	6,522 件	+2,762 件																																
		<p>* 医療安全対策に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> インシデント・アクシデントレポートの集積内容を分析検討し、全職員に周知した結果、各部署での医療安全に対する意識が高まり、インシデント報告数が増加した。 また、幹部会議等で早期にインシデント、アクシデントについての問題点や解決策などを協議し、対応する体制づくりを行った。 理事長及び多職種での月1回の院内医療安全ラウンドにより、積極的に情報収集を行い、医療安全部のスタッフ及び組織全体が連携して問題解決に取り組む体制を整えた。 医療安全研修会については、全員参加を目標に年2回開催し、医療安全に対する意識の高揚を図った。 患者サポートカンファレンスを毎週1回開催して、医療相談、クレーム事例など患者からの意見・要望を把握し、医療安全活動と合わせて、患者の権利の保障について検討した。 月1回のICT会議、週1回の抗菌薬適正使用カンファレンスやラウンドを実施し、医師や病棟スタッフに対し教育や指導、アドバイス、情報交換などを行い感染対策の強化を図った。(※ICT: Infection Control Teamの略、感染防止対策チーム) 感染対策マニュアルを全面改定して、アウトブレイクの対応やMRSAやインフルエンザなど病原体の項目を追加し、より活用しやすいものとし、合わせて職員教育を行った。 現場からの患者・職員の感染症発症時の早期察知と報告により、ICTの早期介入と現場の感染対策の強化・実施を図った。 全職員へ向けにリアルタイムな感染管理に関する情報提供と感染対策実施に向けた啓発、及び報告体制の見直しを行った。また、委託含む全職員対象に、感染対策教育講演会を年2回実施し、感染対策に努めた。 近隣4医療施設・東濃保健所との感染防止対策合同カンファレンスや、東濃保健所と連携し地域医療者を対象とした結核対策の講演会を開催した。 <p>○ インシデント・アクシデント件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減 (21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>1,456 件</td> <td>1,991 件</td> <td>2,642 件</td> <td>3,169 件</td> <td>3,473 件</td> <td>3,661 件</td> <td>+2,205 件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>9 件</td> <td>19 件</td> <td>21 件</td> <td>17 件</td> <td>22 件</td> <td>20 件</td> <td>+11 件</td> </tr> <tr> <td>総数</td> <td>1,465 件</td> <td>2,010 件</td> <td>2,663 件</td> <td>3,186 件</td> <td>3,495 件</td> <td>3,681 件</td> <td>+2,216 件</td> </tr> </tbody> </table>								項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)	インシデント	1,456 件	1,991 件	2,642 件	3,169 件	3,473 件	3,661 件	+2,205 件	アクシデント	9 件	19 件	21 件	17 件	22 件	20 件	+11 件	総数	1,465 件	2,010 件	2,663 件	3,186 件	3,495 件	3,681 件	+2,216 件
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)																																		
インシデント	1,456 件	1,991 件	2,642 件	3,169 件	3,473 件	3,661 件	+2,205 件																																		
アクシデント	9 件	19 件	21 件	17 件	22 件	20 件	+11 件																																		
総数	1,465 件	2,010 件	2,663 件	3,186 件	3,495 件	3,681 件	+2,216 件																																		

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																			
		業務実績等	自己評価	論点	検証(案)																																																																		
3-1-2	<p>来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の整備、医療情報に関する相談体制の整備・充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めること。</p> <p>また、病院運営に関し、患者のみならず地域住民の意見を取り入れる仕組みを作り、患者・住民サービスの向上を図ること。</p>	<p>* 患者の利便性の向上に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外来駐車場の増設工事の整備と同時に外来駐車場を有料化したことにより、無断駐車が一掃され、必要な駐車スペースの確保と近隣道路の渋滞を解消した。 ・ 早朝コンシェルジュを外来に配置するなどして積極的な患者案内の取り組みを図った。 ・ 自動支払機のシステム改修、並びに窓口の混雑状況を見ながら会計窓口機能の拡充やクレジットカード決済を導入し、支払いに要する待ち時間の短縮を図った。 ・ 医療連携に基づく検査依頼については、電話予約(CT、MRD)の採用や当日枠の運用など、検査依頼にかかる待ち時間の縮減を図った。 ・ 午前の手術開始時間を早めたり、委託業者配置人員の増員などにより手術件数の増加を図った。 ・ 正面玄関ロビーを、木材を豊富に使用し、明るさとともに和みのある空間の改修工事を行い、併せて院内サインの色調を統一し、見やすく、分かりやすいものへとし、患者の利便性向上を図った。 ・ セカンドオピニオンについては、院内や病院のホームページに案内掲示し、相談者からの申し出には、医療連携室を窓口として一元的に対応した。また、がんの種類別に医師を選任し、相談に応じた。 ・ 患者から情報の開示を求められた際には、個人情報保護条例、院内の規程、要綱、指針に基づき、迅速に対応した。 ・ 平成23年度に、ソフト・ハード両面からの患者サービスの改善などに全職員が一丸となって取り組み、(財)日本医療機能評価機構の病院機能評価の認定更新をした。 <p>○ サービスの平均待ち時間の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減(22→26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均待ち時間</td> <td>24分</td> <td>23分</td> <td>23分</td> <td>24分</td> <td>23分</td> <td>▲1分</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ カルテ開示請求件数・開示件数・開示率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減(22→26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>25件</td> <td>34件</td> <td>62件</td> <td>65件</td> <td>63件</td> <td>+38件</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>25件</td> <td>34件</td> <td>61件</td> <td>65件</td> <td>63件</td> <td>+38件</td> </tr> <tr> <td>開示率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>98.4%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 相談件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談</td> <td>9,889件</td> <td>8,567件</td> <td>7,921件</td> <td>10,199件</td> <td>11,186件</td> <td>11,648件</td> <td>+1,759件</td> </tr> <tr> <td>がんサロン相談</td> <td>—件</td> <td>—件</td> <td>131件</td> <td>168件</td> <td>140件</td> <td>140件</td> <td>+9件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※)：H26と独法化前若しくは開始年度の増減</p> <p>○ セカンドオピニオン実施件数</p>	項目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(22→26)	平均待ち時間	24分	23分	23分	24分	23分	▲1分	項目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(22→26)	請求件数	25件	34件	62件	65件	63件	+38件	開示件数	25件	34件	61件	65件	63件	+38件	開示率	100%	100%	98.4%	100%	100%		項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(%)	医療相談	9,889件	8,567件	7,921件	10,199件	11,186件	11,648件	+1,759件	がんサロン相談	—件	—件	131件	168件	140件	140件	+9件	III	<p>評価の検討</p> <p>III→IV</p> <p>患者の利便性向上のための様々な取り組みや、日本医療機能評価機構の病院機能評価の認定更新をしていることは高く評価できる。</p> <p>IIIのまま</p> <p>中期目標どおり達成している。</p>	<p>「IV」</p> <p>患者の利便性向上のための様々な取り組みや、日本医療機能評価機構の病院機能評価の認定更新をしていることは高く評価できる。</p>
項目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(22→26)																																																																	
平均待ち時間	24分	23分	23分	24分	23分	▲1分																																																																	
項目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(22→26)																																																																	
請求件数	25件	34件	62件	65件	63件	+38件																																																																	
開示件数	25件	34件	61件	65件	63件	+38件																																																																	
開示率	100%	100%	98.4%	100%	100%																																																																		
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(%)																																																																
医療相談	9,889件	8,567件	7,921件	10,199件	11,186件	11,648件	+1,759件																																																																
がんサロン相談	—件	—件	131件	168件	140件	140件	+9件																																																																

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価							評価委員会の検証																				
		業務実績等							自己評価	論 点	検 証 (案)																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減(※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>13件</td> <td>5件</td> <td>11件</td> <td>12件</td> <td>1件</td> <td>8件</td> <td>▲5件</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>—</td> <td>48件</td> <td>74件</td> <td>69件</td> <td>54件</td> <td>55件</td> <td>+7件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※)：H26と独法化前若しくは開始年度の増減</p> <p>* 患者・住民サービスの向上に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成24年度に、当院の基本理念である「安全で、やさしく、あたたかみ医療に努めます」をコンセプトにしたシンボルマークを制定し、病院利用者及び職員に患者中心の医療の実践をアピールした。 治療効果を高め、より快適な入院生活を送ることができるよう食種や、献立・食材の見直しをするとともに、栄養不良が疑われる患者に対し、NSTの早期介入により栄養状態の改善強化に努めた。 入院にかかる詳細な説明を行う目的で、入院案内センターを新設し、相談体制の連携強化を図った。 医療連携室、医療相談室、退院調整を一体化した「地域医療連携センター」を設立し、相互の連携を強化することにより、紹介患者の受け入れ、入院の早い段階での医療相談、退院後のかかりつけ医への逆紹介、転院調整、在宅医療の支援などを円滑に推進する体制を整えた。 がん患者サロンを開設し、がん患者及びその家族に対する相談を行った。 患者や家族に治療に対する理解を深めてもらうことを目的に、NPO法人「医療の質に関する研究会」から図書などの寄付を受け、平成25年度に患者図書室「ぬくた〜らいぶらり」を開設した。 地域住民や医療・福祉関係団体の代表者等で構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、病院運営に関するニーズの把握や病院運営に対する意見交換を行った。 外来及び入院患者を対象とした患者満足度調査を実施し、調査結果を関係部署に通知し、業務改善の検討等に活用した。 院内ギャラリーを開設し、病院利用者に対する癒しの環境整備を図った。 	項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(※)	外来受入	13件	5件	11件	12件	1件	8件	▲5件	他院紹介	—	48件	74件	69件	54件	55件	+7件			
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(※)																						
外来受入	13件	5件	11件	12件	1件	8件	▲5件																						
他院紹介	—	48件	74件	69件	54件	55件	+7件																						
3-1-5	<p>高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるが県民が必要とする医療を、岐阜県立多治見病院として重点的に実施すること。</p> <p>特に、「救命救急医療」、「急性期医療」、「母子周産期医</p>	<p>* 救命救急医療に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣の医療機関との役割分担の推進、救命救急センターと各診療科の連携により、ほぼ全ての救急車を受け入れ、地域の要望に応えた。 平成20年9月から運用開始したドクターカーについては、担当スタッフの減少により平成24年度で定期運行業務を停止したが、緊急要請には対応できる体制を維持した。 <p>○ 病床利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減(21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延入院</td> <td>4,748名</td> <td>4,859名</td> <td>4,480名</td> <td>4,437名</td> <td>4,657名</td> <td>4,533名</td> <td>▲215名</td> </tr> </tbody> </table>	項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(21-26)	延入院	4,748名	4,859名	4,480名	4,437名	4,657名	4,533名	▲215名	IV		<p>担当スタッフの人材が確保できれば、ドクターカーの再稼働を前向きに検討していただきたい。</p>								
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(21-26)																						
延入院	4,748名	4,859名	4,480名	4,437名	4,657名	4,533名	▲215名																						

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価						評価委員会の検証			
		業務実績等						自己評価	論点	検証(案)	
	療」、「がん診療拠点」など高度で先進的な医療を提供するとともに、「精神科医療」、「感染症医療」など政策医療を提供すること。	患者数									
		病床利用率	64.9%	66.6%	61.2%	60.8%	63.8%	62.1%	▲2.8P		
		○ 救急車受入台数									
		項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(21-26)		
		救急車受入件数	4,949件	4,581件	4,620件	4,368件	4,443件	4,524件	▲425件		
		同一日平均台数	13.6台	12.5台	12.6台	12.0台	12.2台	12.4台	▲1.2台		
		○ ドクターカー稼働実績									
		項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度			
		出動件数	424件	477件	421件	251件	-	-			
		○ 救急外来患者数									
		診療科	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(21-26)		
		内科	5,006名	4,813名	4,810名	4,513名	4,619名	4,561名	▲445名		
		神経内科	951名	1,043名	1,075名	929名	990名	982名	31名		
		小児科	2,377名	2,421名	2,310名	2,251名	2,073名	2,015名	▲362名		
		外科	840名	591名	703名	800名	520名	496名	▲344名		
		整形外科	1,662名	1,792名	1,742名	1,663名	1,657名	1,572名	▲90名		
		脳神経外科	1,025名	957名	962名	842名	928名	925名	▲100名		
		産婦人科	649名	684名	704名	648名	627名	633名	▲16名		
		その他	2,303名	2,270名	2,261名	2,311名	2,120名	2,024名	▲279名		
		* 急性期医療に関する事項(心臓血管疾患医療)									
		☆ 業務実績等									
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 中西病棟開設と同時に循環器内科、心臓血管外科を中病棟7階に配置し、内科部門と外科部門の緊密な連携が可能となった。 ・ 常勤外科医師数が減少する中、大学病院の全面的な支援を受け、必要な診療体制を維持した。 ・ 狭心症・心筋梗塞地域連携バスの症例数を増やし、円滑に運用した。 									

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価						評価委員会の検証																																																																																																																																															
		業務実績等						自己評価	論 点	検 証 (案)																																																																																																																																													
		<p>○ 手術件数</p> <p>【心臓血管手術定例数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減 (21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>虚血性心疾患</td> <td>18件</td> <td>34件</td> <td>20件</td> <td>12件</td> <td>26件</td> <td>18件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>弁膜症</td> <td>15件</td> <td>34件</td> <td>29件</td> <td>32件</td> <td>22件</td> <td>26件</td> <td>+11件</td> </tr> <tr> <td>大動脈</td> <td>15件</td> <td>21件</td> <td>14件</td> <td>4件</td> <td>14件</td> <td>16件</td> <td>+1件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5件</td> <td>17件</td> <td>21件</td> <td>29件</td> <td>18件</td> <td>34件</td> <td>+29件</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>53件</td> <td>106件</td> <td>84件</td> <td>77件</td> <td>80件</td> <td>94件</td> <td>+41件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【手術・検査件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減 (21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心カテ</td> <td>607件</td> <td>944件</td> <td>849件</td> <td>999件</td> <td>989件</td> <td>1,028件</td> <td>+421件</td> </tr> <tr> <td>PCI※</td> <td>302件</td> <td>379件</td> <td>374件</td> <td>387件</td> <td>398件</td> <td>411件</td> <td>+109件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※PCI：冠動脈形成術</p> <p>【循環器系】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減 (21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アブレーション</td> <td>24件</td> <td>25件</td> <td>29件</td> <td>40件</td> <td>63件</td> <td>72件</td> <td>+48件</td> </tr> <tr> <td>PMI※</td> <td>51件</td> <td>43件</td> <td>62件</td> <td>66件</td> <td>53件</td> <td>68件</td> <td>+17件</td> </tr> <tr> <td>ICD※</td> <td>5件</td> <td>11件</td> <td>11件</td> <td>9件</td> <td>5件</td> <td>16件</td> <td>+11件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※PMI：ペースメーカー埋込 ICD：植え込み型除細動器</p> <p>* 母子周産期医療に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠や分娩に対し、24時間対応できる体制を維持確保した。現在の診療体制を維持、充実させるために継続して医師、助産師の確保、増員に努めた結果、新たに職員を採用することができた。 ・ また、医師、助産師等のスタッフの待遇改善の一環として、国の補助事業（産科医等確保支援事業）を活用し、分べんに従事した職員に対して支給する特別手当「分娩手当」を新設した。 <p>○ 採用職員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減 (22-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助産師</td> <td>1名</td> <td>0名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> <td>4名</td> <td>+3名</td> </tr> <tr> <td>後期研修医</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 分娩件数等の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減 (21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)	虚血性心疾患	18件	34件	20件	12件	26件	18件	0件	弁膜症	15件	34件	29件	32件	22件	26件	+11件	大動脈	15件	21件	14件	4件	14件	16件	+1件	その他	5件	17件	21件	29件	18件	34件	+29件	合 計	53件	106件	84件	77件	80件	94件	+41件	項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)	心カテ	607件	944件	849件	999件	989件	1,028件	+421件	PCI※	302件	379件	374件	387件	398件	411件	+109件	項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)	アブレーション	24件	25件	29件	40件	63件	72件	+48件	PMI※	51件	43件	62件	66件	53件	68件	+17件	ICD※	5件	11件	11件	9件	5件	16件	+11件	項目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (22-26)	助産師	1名	0名	2名	2名	4名	+3名	後期研修医	0名	0名	0名	1名	0名	0名	項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)											
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)																																																																																																																																																
虚血性心疾患	18件	34件	20件	12件	26件	18件	0件																																																																																																																																																
弁膜症	15件	34件	29件	32件	22件	26件	+11件																																																																																																																																																
大動脈	15件	21件	14件	4件	14件	16件	+1件																																																																																																																																																
その他	5件	17件	21件	29件	18件	34件	+29件																																																																																																																																																
合 計	53件	106件	84件	77件	80件	94件	+41件																																																																																																																																																
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)																																																																																																																																																
心カテ	607件	944件	849件	999件	989件	1,028件	+421件																																																																																																																																																
PCI※	302件	379件	374件	387件	398件	411件	+109件																																																																																																																																																
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)																																																																																																																																																
アブレーション	24件	25件	29件	40件	63件	72件	+48件																																																																																																																																																
PMI※	51件	43件	62件	66件	53件	68件	+17件																																																																																																																																																
ICD※	5件	11件	11件	9件	5件	16件	+11件																																																																																																																																																
項目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (22-26)																																																																																																																																																	
助産師	1名	0名	2名	2名	4名	+3名																																																																																																																																																	
後期研修医	0名	0名	0名	1名	0名	0名																																																																																																																																																	
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減 (21-26)																																																																																																																																																

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価							評価委員会の検証																																																													
		業務実績等							自己評価	論点	検証(案)																																																											
		分娩件数	463件	435件	462件	457件	461件	494件	+31件																																																													
		母体搬送件数	71件	56件	61件	58件	75件	69件	▲2件																																																													
		新生児搬送件数	39件	54件	72件	83件	110件	78件	39件																																																													
		<p>* がん診療拠点に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> 高精度放射線治療システム(ノバリス Tx)の担当する医療スタッフのスキルアップ支援や地域医療従事者等へのPR活動を行い、平成25年度に本格稼働を行った。 県内統一のがん地域連携クリニカルパスについて、地域医療機関への運用推進を行った。 院内外の講演会や研修会において、がん治療に関するテーマを積極的に取り上げ、情報発信を行った。 バスコーディネーターによるバス対象者の抽出し、医師への照会を行いながらバス適用者拡大に取り組んだ。 <p>○ がん患者の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減(21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>981名</td> <td>1,338名</td> <td>1,274名</td> <td>1,620名</td> <td>2,338名</td> <td>2,413名</td> <td>+1,432名</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>1,193名</td> <td>-</td> <td>1,015名</td> <td>1,098名</td> <td>1,183名</td> <td>1,282名</td> <td>+59名</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>1,135件</td> <td>1,052件</td> <td>1,025件</td> <td>1,064件</td> <td>1,159件</td> <td>1,098件</td> <td>▲37件</td> </tr> <tr> <td>化学療法件数</td> <td>489件</td> <td>884件</td> <td>779件</td> <td>979件</td> <td>1,012件</td> <td>936件</td> <td>+447件</td> </tr> <tr> <td>放射線施行回数</td> <td>72回</td> <td>3,804回</td> <td>3,177回</td> <td>3,535回</td> <td>3,115回</td> <td>2,777回</td> <td>+2,705回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) H22 外来患者数は、統計データシステムの集計期限切れのため</p> <p>○ 高精度放射線治療システム(ノバリス Tx)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者数</td> <td>154名</td> <td>203名</td> </tr> <tr> <td>延べ件数</td> <td>3,493件</td> <td>3,957件</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 精神科医療・感染症医療に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な医師5名を確保し、平成24年度から精神科病床を再開することができた。 行動制限最小化委員会を毎月開催し、精神科患者の病状改善、行動制限の状況の適切性及び行動制限最小化のための検討を行った。 医療保護入院者の退院促進に向けた取り組みを推進するため、医療保護入院者退院支援委員会を設置した。 結核、感染症病棟については、平成24年度に呼吸器内科医師5名を確保することで、受け入れ体制を維持した。 院内職員及び院外医療関係機関を対象に感染症対策研修会の実施やITC通信の発行など、感染防止の啓蒙を行った。 県が開催した新型インフルエンザ等発生における会議及び緊急連絡網の訓練に参加 										項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(21-26)	入院患者数	981名	1,338名	1,274名	1,620名	2,338名	2,413名	+1,432名	外来患者数	1,193名	-	1,015名	1,098名	1,183名	1,282名	+59名	手術件数	1,135件	1,052件	1,025件	1,064件	1,159件	1,098件	▲37件	化学療法件数	489件	884件	779件	979件	1,012件	936件	+447件	放射線施行回数	72回	3,804回	3,177回	3,535回	3,115回	2,777回	+2,705回	項目	25年度	26年度	患者数	154名	203名	延べ件数	3,493件	3,957件		
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(21-26)																																																															
入院患者数	981名	1,338名	1,274名	1,620名	2,338名	2,413名	+1,432名																																																															
外来患者数	1,193名	-	1,015名	1,098名	1,183名	1,282名	+59名																																																															
手術件数	1,135件	1,052件	1,025件	1,064件	1,159件	1,098件	▲37件																																																															
化学療法件数	489件	884件	779件	979件	1,012件	936件	+447件																																																															
放射線施行回数	72回	3,804回	3,177回	3,535回	3,115回	2,777回	+2,705回																																																															
項目	25年度	26年度																																																																				
患者数	154名	203名																																																																				
延べ件数	3,493件	3,957件																																																																				

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																														
		業務実績等	自己評価	論点	検証(案)																																													
		<p>し、情報共有と連絡体制の確認を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度に診療継続計画を作成し、感染委員会を通じて院内の周知を図った。 <p>○ 患者の受入数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減(※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>精神科医療</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5,400名</td> <td>7,274名</td> <td>6,654名</td> <td>+1,254名</td> </tr> <tr> <td>結核・感染症医療</td> <td>1,842名</td> <td>1,243名</td> <td>2,358名</td> <td>1,933名</td> <td>2,283名</td> <td>3,023名</td> <td>+1,181名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※)：H26と独法化前若しくは開始年度の増減</p> <p>* 緩和ケアに関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅緩和ケア体制構築のため、講演会、研修会、勉強会を定期定期に開催し、地域全体の医療従事者のスキルアップを図るとともに診療所・訪問看護ステーション・ケアマネジャーなどとの緊密な連携を推進した。 緩和ケアセンターを開設し、緩和ケア外来や緩和ケア病棟などを統括して迅速かつ適切な緩和ケアを提供するため体制を図った。 がん在宅緩和ケア地域連携推進事業を活用した在宅支援診療所、訪問看護ステーション等を地図上に表示した在宅緩和ケアマップ、及び県内統一の緩和ケア地域連携クリニカルパスを作成した。 <p>○ 緩和ケアの患者動向</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減(22-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>2,332名</td> <td>3,777名</td> <td>3,981名</td> <td>4,077名</td> <td>3,806名</td> <td>+1,474名</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>72名</td> <td>101名</td> <td>138名</td> <td>132名</td> <td>139名</td> <td>+67名</td> </tr> </tbody> </table>	項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(※)	精神科医療	—	—	—	5,400名	7,274名	6,654名	+1,254名	結核・感染症医療	1,842名	1,243名	2,358名	1,933名	2,283名	3,023名	+1,181名	項目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(22-26)	入院患者数	2,332名	3,777名	3,981名	4,077名	3,806名	+1,474名	外来患者数	72名	101名	138名	132名	139名	+67名			
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(※)																																											
精神科医療	—	—	—	5,400名	7,274名	6,654名	+1,254名																																											
結核・感染症医療	1,842名	1,243名	2,358名	1,933名	2,283名	3,023名	+1,181名																																											
項目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(22-26)																																												
入院患者数	2,332名	3,777名	3,981名	4,077名	3,806名	+1,474名																																												
外来患者数	72名	101名	138名	132名	139名	+67名																																												
3-2-2	電子カルテシステムを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、診療等で得た情報を岐阜県立多治見病院で提供する医療の質の向上に活用するとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。	<p>* 診療等の情報の活用に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> 「診療報酬委員会」を設置し、平均在院日数、入院収益、診療単価、手術件数などの分析を行い、機密評価係数を上昇させた。 地域医療連携推進協議会を開催し、紹介・逆紹介、高度医療機器利用、開放型病床利用等の各種データを提供し、急性期病院と開業医、他の医療機関との地域における役割、医療資源の有効活用について検討を重ねた。 ガイドラインに基づいた治療及び各々の症例についてカンファレンスで集積したエビデンスに基づき評価を行い、成績向上に努めた。 学会などが主導する疾患別登録事業、がん登録事業に参加し情報の提供や、がん登録について、国立がんセンター主導の予後調査事業に参加し、市町村からの予後情報の収集に努めた。 年報やホームページで、診療科の治療実績や、臨床指標(クリニカルインディケータ)を公開し、情報発信を行った。 	IV		診療等の情報の活用に関し、具体的かつ確実な取り組みがなされていると評価できる。																																													

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																					
		業務実績等	自己評価	論 点	検 証 (案)																																				
3-3-2	県内に就学している看護学生の実習受入れ、救急救命士の新規養成及び再教育にともなう病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。	<p>* 地域医療従事者への教育に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> 名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学など関連大学の医学生、看護学生やコメディカル関係の学生について、積極的に実習を受け入れた。 救命救急士の生涯教育実習、就業前実習、気管挿管実習、薬剤投与実習を定期的に実施し、医療技術の向上を図った。 <p>○ 医学生等の実習受入れ数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>増減(22-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td> <td>11名</td> <td>10名</td> <td>10名</td> <td>9名</td> <td>22名</td> <td>+11名</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td>424名</td> <td>452名</td> <td>525名</td> <td>602名</td> <td>567名</td> <td>+143名</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>21名</td> <td>57名</td> <td>48名</td> <td>57名</td> <td>60名</td> <td>+39名</td> </tr> <tr> <td>救命救急士</td> <td>90名</td> <td>79名</td> <td>64名</td> <td>64名</td> <td>653名</td> <td>+563名</td> </tr> </tbody> </table>	項目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(22-26)	医学生	11名	10名	10名	9名	22名	+11名	看護学生	424名	452名	525名	602名	567名	+143名	コメディカル	21名	57名	48名	57名	60名	+39名	救命救急士	90名	79名	64名	64名	653名	+563名	III		医学生など、実習受入れ数が大幅に増加しており、今後もこの傾向が続くことを期待したい。	
項目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	増減(22-26)																																			
医学生	11名	10名	10名	9名	22名	+11名																																			
看護学生	424名	452名	525名	602名	567名	+143名																																			
コメディカル	21名	57名	48名	57名	60名	+39名																																			
救命救急士	90名	79名	64名	64名	653名	+563名																																			
4-1-2	医療需要の変化に迅速に対応し、診療科の変更や医師・看護師等の配置の弾力的運用を行うこと。 常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。	<p>* 診療体制や人員配置の弾力的運用に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> 7対1看護体制の実現を契機に、外来と病棟の看護師配置の充実を図った。 医師事務作業補助者や病棟事務補助者の配置、病棟ごとに専任の薬剤師を配置し、医師をはじめとした医療従事者の負担が軽減した。 リハビリテーション科に専従の医師を配置して土曜診療を開始し、入院患者に対するリハビリ中断期間を短縮でき、治療効果が向上し、平均在院日数の短縮にも繋がった。 専門看護師が複数の診療科における医療活動に携わることができるなど機動性が発揮できる体制を整えた。 看護体制の強化のため、夜勤専従看護師の配置、短時間就労制の実施、職場復帰支援制度の構築等の取り組みを行った。 法人化に伴い、病院(法人)の判断で必要な時期に必要な職員を採用することが可能となった。そのため、年度途中で正規職員として看護師、コメディカルを採用し、効果的に配置することができた。 入院案内センターへ職員を配置し、円滑な入院案内とこれによる医療職の負担軽減、患者サービスの向上を図った。同様に診療録管理室への配置により、円滑な院内がん登録作業の遂行を図った。 <p>○ 医師・看護師事務作業補助者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21年度末</th> <th>22年度末</th> <th>23年度末</th> <th>24年度末</th> <th>25年度末</th> <th>26年度末</th> <th>増減(21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師クラーク</td> <td>0名</td> <td>7名</td> <td>16名</td> <td>24名</td> <td>28名</td> <td>40名</td> <td>+40名</td> </tr> <tr> <td>看護クラーク</td> <td>6名</td> <td>8名</td> <td>9名</td> <td>11名</td> <td>11名</td> <td>11名</td> <td>+5名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 育児部分休業及び育児短時間勤務利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>23年度末</th> <th>24年度末</th> <th>25年度末</th> <th>26年度末</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	増減(21-26)	医師クラーク	0名	7名	16名	24名	28名	40名	+40名	看護クラーク	6名	8名	9名	11名	11名	11名	+5名	項目	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	増減							III	<p>評価の検討</p> <p>III→IV</p> <p>医療従事者の負担軽減のため、医師事務作業補助者の増員など様々な取り組みを実施していることは評価できる。</p> <p>IIIのまま</p> <p>中期目標どおり達成している。</p>	<p>「IV」</p> <p>医療従事者の負担軽減のため、医師事務作業補助者の増員など様々な取り組みを実施していることは評価できる。</p>
項目	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	増減(21-26)																																		
医師クラーク	0名	7名	16名	24名	28名	40名	+40名																																		
看護クラーク	6名	8名	9名	11名	11名	11名	+5名																																		
項目	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	増減																																				

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																																																																									
		業務実績等				自己評価	論 点	検 証 (案)																																																																																							
					(23→26)																																																																																										
		利用者数	5名	8名	16名	21名	+16名																																																																																								
4-2-2	地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、病床利用率や医療機器の稼働率を高め、収入の確保に努めること。	<p>* 収入の確保に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ DPC データを活用し、入院収益の向上、効率的な医療の推進に努めた。 ・ 診療報酬改定に向けて、中医協総会などから逐次情報を入手し、DPC 係数の方向性、制度改定の要点について、毎月の診療報酬委員会において報告・検討を行った。 ・ 入院案内センターにおいて、未収金発生防止のために次の取り組みを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ① 個室利用にかかる患者の意思を確認する書類の作成 ② 生活困窮者や未収金のある患者について、入院初期の段階から公費負担制度の活用や支払計画の作成 ③ 入院申請書において、入院申込書における保証人欄等の確認を徹底 ・ 弁護士事務所への回収委託や滞納者の自宅を訪問し、未収金の回収を図った。 ・ クレジットカード決済を導入し、支払い手段を充実させた。 ・ 在院日数短縮や後発医薬品採用率の上昇などの取り組みにより DPC 機能評価係数の大幅な増加を実現した。 ・ 特別食提供率と栄養指導件数の増、術前等の口腔機能管理の実施の取り組みを行い、医療の質の向上と算定件数増加を図った。 <p>○ 病床利用率等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>21 年度</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">入 院</td> <td>病床利用率</td> <td>68.5%</td> <td>77.0%</td> <td>77.2%</td> <td>79.9%</td> </tr> <tr> <td>患者数</td> <td>169,061 名</td> <td>176,113 名</td> <td>177,161 名</td> <td>182,438 名</td> </tr> <tr> <td>一日当 平均患者数</td> <td>463.2 名</td> <td>482.5 名</td> <td>484.0 名</td> <td>499.8 名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">平均 在院 日数</td> <td>全体</td> <td>13.2 日</td> <td>13.0 日</td> <td>13.2 日</td> <td>12.9 日</td> </tr> <tr> <td>DPC</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>12.9 日</td> <td>12.4 日</td> </tr> <tr> <td>診療 単価</td> <td>全体</td> <td>50,740 円</td> <td>54,629 円</td> <td>55,134 円</td> <td>56,928 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>DPC</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>55,469 円</td> <td>58,533 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">外 来</td> <td>患者数</td> <td>269,124 名</td> <td>278,270 名</td> <td>282,673 名</td> <td>290,149 名</td> </tr> <tr> <td>一日当 平均患者数</td> <td>1,112 名</td> <td>1,145 名</td> <td>1,158 名</td> <td>1,184 名</td> </tr> <tr> <td>患者一人当 診療単価</td> <td>11,873 円</td> <td>12,148 円</td> <td>12,689 円</td> <td>13,411 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>増減 (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">入 院</td> <td>病床利用率</td> <td>79.8%</td> <td>75.8%</td> <td>+7.3P</td> </tr> <tr> <td>患者数</td> <td>182,540 名</td> <td>173,459 名</td> <td>+4,398 名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外 来</td> <td>一日当 平均患者数</td> <td>500.1 名</td> <td>475.2 名</td> <td>+12 名</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				項目	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	入 院	病床利用率	68.5%	77.0%	77.2%	79.9%	患者数	169,061 名	176,113 名	177,161 名	182,438 名	一日当 平均患者数	463.2 名	482.5 名	484.0 名	499.8 名	平均 在院 日数	全体	13.2 日	13.0 日	13.2 日	12.9 日	DPC	—	—	12.9 日	12.4 日	診療 単価	全体	50,740 円	54,629 円	55,134 円	56,928 円		DPC	—	—	55,469 円	58,533 円	外 来	患者数	269,124 名	278,270 名	282,673 名	290,149 名	一日当 平均患者数	1,112 名	1,145 名	1,158 名	1,184 名	患者一人当 診療単価	11,873 円	12,148 円	12,689 円	13,411 円						項目	25 年度	26 年度	増減 (※)	入 院	病床利用率	79.8%	75.8%	+7.3P	患者数	182,540 名	173,459 名	+4,398 名	外 来	一日当 平均患者数	500.1 名	475.2 名	+12 名					IV	<p>評価の検討</p> <p>IVのまま</p> <p>収入の確保について、中期目標を上回っている。</p> <p>IV→III</p> <p>未収金の発生額や件数についてあまり縮小が見られないため、その対策をさらに努められたい。</p>	<p>「III」</p> <p>未収金の発生防止対策について、さらに努められたい。</p>
項目	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度																																																																																											
入 院	病床利用率	68.5%	77.0%	77.2%	79.9%																																																																																										
	患者数	169,061 名	176,113 名	177,161 名	182,438 名																																																																																										
	一日当 平均患者数	463.2 名	482.5 名	484.0 名	499.8 名																																																																																										
	平均 在院 日数	全体	13.2 日	13.0 日	13.2 日	12.9 日																																																																																									
		DPC	—	—	12.9 日	12.4 日																																																																																									
	診療 単価	全体	50,740 円	54,629 円	55,134 円	56,928 円																																																																																									
	DPC	—	—	55,469 円	58,533 円																																																																																										
外 来	患者数	269,124 名	278,270 名	282,673 名	290,149 名																																																																																										
	一日当 平均患者数	1,112 名	1,145 名	1,158 名	1,184 名																																																																																										
	患者一人当 診療単価	11,873 円	12,148 円	12,689 円	13,411 円																																																																																										
項目	25 年度	26 年度	増減 (※)																																																																																												
入 院	病床利用率	79.8%	75.8%	+7.3P																																																																																											
	患者数	182,540 名	173,459 名	+4,398 名																																																																																											
外 来	一日当 平均患者数	500.1 名	475.2 名	+12 名																																																																																											

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価					評価委員会の検証		
		業務実績等					自己評価	論点	検証(案)
		平均 在院 日数	全体 12.6日	11.5日	▲1.7日				
		DPC	11.9日	10.9日	▲2.0日				
		診療 単価	全体 58,710円	61,860円	+11,120円				
		DPC	60,926円	64,417円	+8,948円				
		外来 患者数	297,719名	296,021名	+26,897名				
		一日当 平均患者数	1,220名	1,213名	+101名				
		患者一人当 診療単価	14,250円	14,829円	+2,956円				
		(※)：H26と独法化前若しくは開始年度の増減							
		○ 未収金の発生状況							
		21年度末		22年度末		23年度末			
		項目	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
		過年分	873件	52,233千円	891件	54,091千円	682件	39,909千円	
		現年分	1,087件	67,151千円	1,115件	81,877千円	1,888件	75,823千円	
		合計	1,960件	119,360千円	2,006件	135,968千円	2,570件	115,732千円	
		24年度末		25年度末		26年度末			
		項目	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
		過年分	650件	34,988千円	721件	39,898千円	613件	37,086千円	
		現年分	2,051件	93,821千円	2,109件	69,312千円	2,393件	78,596千円	
		合計	2,701件	128,809千円	2,830件	109,210千円	3,006件	115,682千円	
4-2-3	薬剤・診療材料の購入方法の見直しや在庫管理の徹底や後発医薬品(ジェネリック医薬品)の採用などにより費用の節減に努めること。	* 費用の削減に関する事項 ☆ 業務実績等 ・ 病院経営に関するコンサルタント業務の専門業者を有効活用し、次の取り組みにより節減を図ることができた。 ① 薬品について、契約方法について新たな方法を導入して卸業者間の競争を促し、節減を図る。 ② 診療材料について、年間契約品や新規採用材料費の節減を図る。 ・ 日常業務の改善、在庫管理体制の確立のため、新たなSPD運用管理により、各現場在庫の縮減を図った。 ・ 有効性、安全性に考慮した後発医薬品(ジェネリック医薬品)の積極的な採用を行い、費用の節減を図った。					IV	経営面から、ジェネリックの積極的な導入は評価できる。	
		○ 医薬収益に対する材料費比率							
		項目	21	22	23	24	25	26	増減

項目No.	中期目標	中期目標に係る業務実績、法人の自己評価						評価委員会の検証																
		業務実績等						自己評価	論点	検証(案)														
			年度	年度	年度	年度	年度	年度	(21-26)															
		薬品費	16.30 %	14.40 %	14.20 %	14.08 %	15.41 %	14.56 %	▲1.74 P															
		診療材料費	10.20 %	10.50 %	9.40 %	9.00 %	9.76 %	10.11 %	▲0.09 P															
		○ ジェネリック医薬品の使用比率																						
		項目	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	増減 (21-26)															
		品目ベース	9.4 %	10.1 %	13.01 %	29.21 %	23.98 %	84.86 % (※)	+75.46 P															
		金額ベース	8.7 %	10.0 %	9.71 %	10.14 %	8.58 %	8.41 %	▲0.29 P															
		(※): 計算方法の変更による																						
5-1	業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、中期目標の期間の最終年度までに経常収支比率100%以上を達成すること。	<p>* 経常収支比率に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等 医薬収益の増と経費節減などの努力によって、目標である100%以上を平成22年度の独立行政法人化から5年連続で達成した。</p> <p>○ 経常収支比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>21 年度</th> <th>22 年度</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>増減 (21-26)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>99.7 %</td> <td>103.3 %</td> <td>102.1 %</td> <td>105.8 %</td> <td>104.0 %</td> <td>101.6 %</td> <td>+1.9P</td> </tr> </tbody> </table>						21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	増減 (21-26)	99.7 %	103.3 %	102.1 %	105.8 %	104.0 %	101.6 %	+1.9P	IV		平成22年度以降、経常収支比率が100%以上を維持していることは、高く評価できる。
21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	増減 (21-26)																		
99.7 %	103.3 %	102.1 %	105.8 %	104.0 %	101.6 %	+1.9P																		